

施策番号	施策名	予算額（百万円）	
532	道路網の整備	48,730	
<p>【2010年度の目標】 広域的な道路ネットワークの形成により、生活圏の中心となる都市までおよび都市間の時間距離が短縮され、都市と周辺地域、都市圏相互の交流の活発化、連携の強化が図られています。 また、さまざまな広報媒体、手段による道路情報の提供が図られ、住民が快適に、かつ安全に道路を利用できるようになっています。</p>			
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
国道道改良率	66.8% (1995年度末)	70.0% (見込み)	72% (80%)
県管理国道の改良整備(18路線)	3割の路線が改良済(5路線)	3割の路線が改良済(5路線)	3割の路線が改良済(5路線) (8割の路線が改良済(14路線))
道の駅	5か所	10か所	10か所 (15か所)
県管理道路落石等危険箇所対策(1200か所)	410か所 (34%)	526か所 (44%)	660か所(55%) (1,100か所(92%))

これまでの取組

平成10年8月に策定した「道路整備10箇年戦略」に基づき、順次計画的に未改良区間の改良（現道拡幅、バイパス）、混雑区間の解消（4車線化、バイパス）を行いました。また、落石等危険箇所対策として、道路防災総点検結果に基づく要対策箇所のうち、優先度の高い箇所を選定し対策工事を実施しました。

平成13年度の取組

平成13年度においては、引き続き、「道路整備10箇年戦略」等に基づく計画的、効率的な道路整備により、地域間の交流や連携を担う広域的な道路ネットワークの形成を図ります。また、落石等危険箇所対策は、危険度や緊急度の高い箇所を重点的に整備することにより道路ネットワークの安全性向上、道路災害の発生により孤立する地域の解消を目指します。

主な事業

- 道路改築事業** (27,355,248(5,192,865)千円)
 【(101)道路ネットワークの形成事業】〔所管部局名 県土整備部〕
 県民生活の利便性、安全性の向上を図るため、平成10年度に策定した「道路整備10箇年戦略」に基づき、県道及び県管理国道について広域連携の推進や地域間を連結する道路の整備、未改良区間の整備、混雑区間の解消等の事業を進めます。
 一般国道166号田引バイパス（飯高町）、主要地方道鳥羽松阪線（松阪市）
- 高規格幹線道路関連整備事業** (1,106,000(115,065)千円)
 【(101)道路ネットワークの形成事業】〔所管部局名 県土整備部〕
 高規格幹線道路を軸とした道路ネットワークを緊急に整備します。
 第二名神高速道路関連・・・主要地方道四日市多度線（四日市市）
 近畿自動車道紀勢線関連・・・主要地方道紀勢インター線（紀勢町）
- 交流ふれあいトンネル・橋りょう整備事業** (730,000(11,832)千円)
 【(101)道路ネットワークの形成事業】〔所管部局名 県土整備部〕
 地形的な制約により相互の交流が遅れている市町村境等を連結するトンネル、橋りょうを重点的に整備します。
 主要地方道伊勢南島線（野見坂第1トンネル）(度会町～南島町)

- 4 直轄道路事業負担金 (10,116,938 (421,755) 千円)
【(101)道路ネットワークの形成事業】〔所管部局名 県土整備部〕
国道の指定区間や県境部・大規模困難部における権限代行区間において、国が直接事業又は管理する事業に対して負担金を支出することにより整備促進を図り、広域道路ネットワークを形成し、県民生活の利便性の向上を図ります。
北勢バイパス、中勢バイパス、松阪多気バイパス、熊野尾鷲道路
一般国道166号高見峠(飯高町)、260号(南島町、紀勢町)
- 5 道路橋りょう維持修繕事業 (7,604,810 (2,528,046) 千円)
【(101)道路ネットワークの形成事業】〔所管部局名 県土整備部〕
道路施設の補修・補強を実施することにより、道路の走行性及び安全性の向上を図り、快適で安全な道路網の整備を行います。
一般国道165号(久居市)、一般地方道四日市菰野大安線(大安町)